

ALOKA アイソトープ取扱管理システム (ISR-1100)

起動方法

RI の購入後行う事

入庫

コード番号の新規登録 (カタログ及びカタログメーカーの登録)

RI の使用をする前に行う事

出庫

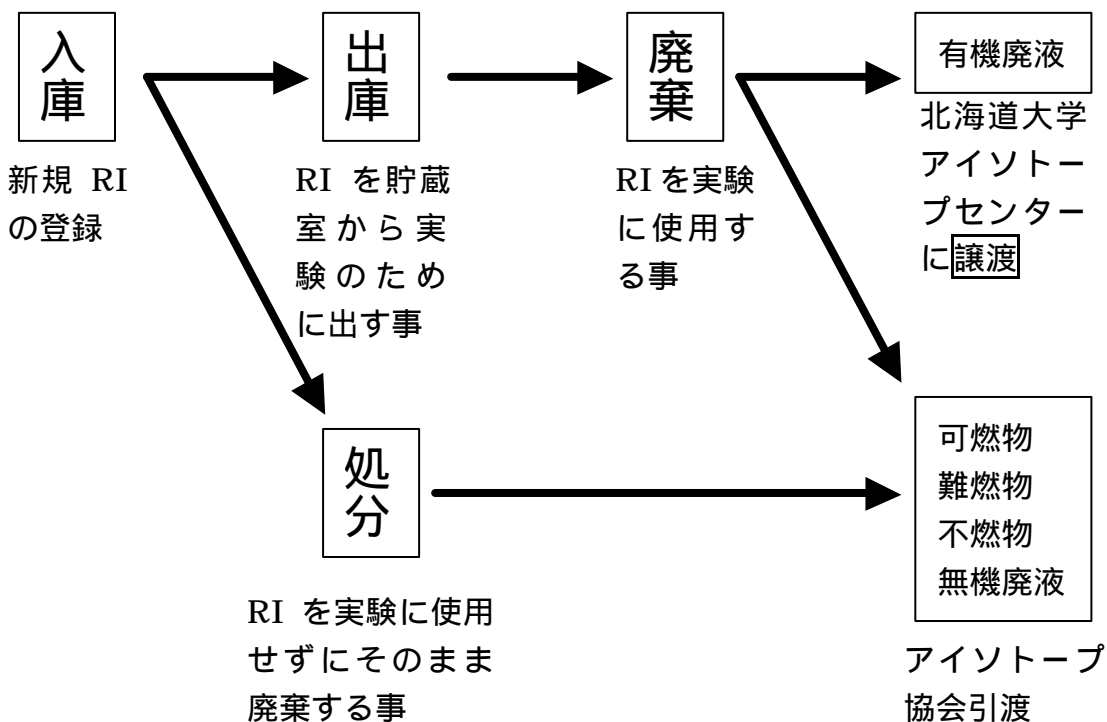
RI 実験終了後に行う事

廃棄

実験終了後余った RI を廃棄する場合

処分

注意：液体シンチレーションカウンターの使用等による有機廃液は「北海道大学アイソトープセンター」に譲渡という形で登録する。



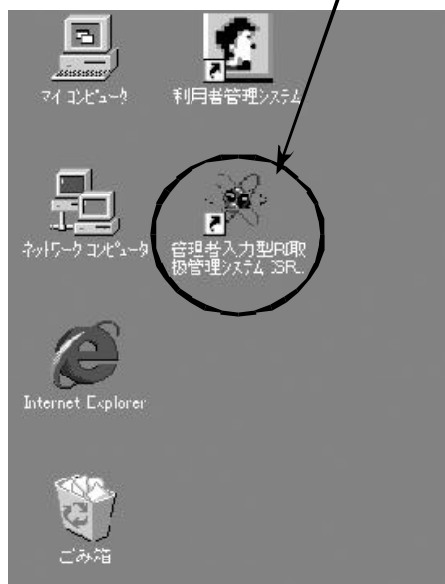
起動方法

コンピュータの電源を入れる。

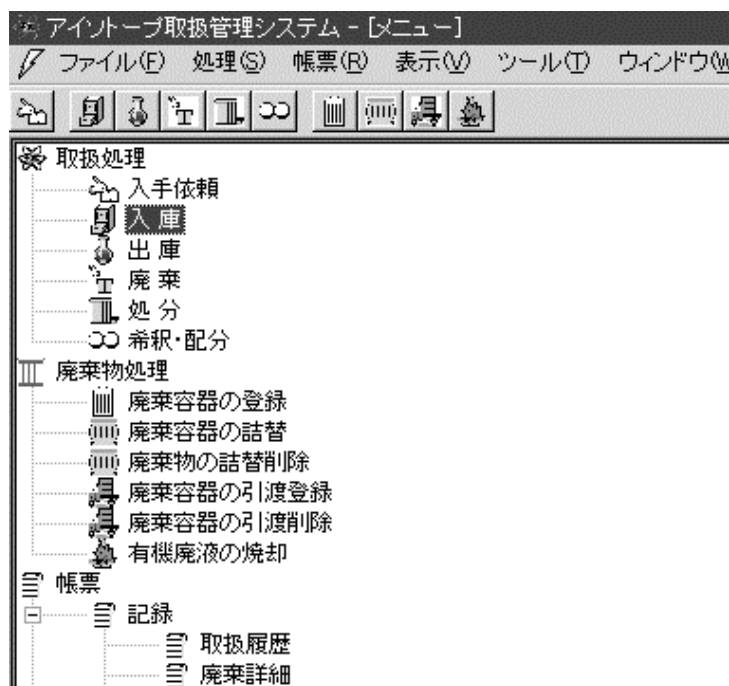
Windows NT が起動する。

起動後、「管理者入力型 RI 取扱管理システム ISR-1100」をダブルクリックする。

これをダブルクリック

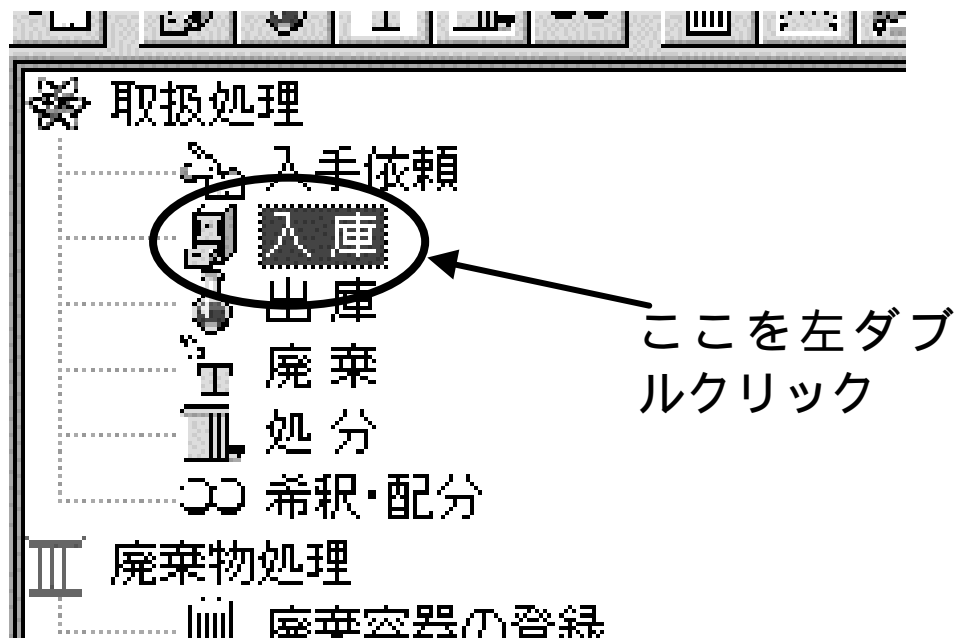


「アイトープ取扱管理システム[メニュー]」が表示される。



RI の購入後行う事 : 入庫

下記画面の「取扱処理」の下の「入庫」をダブルクリック



下記画面の「入庫のリスト」が表示されるので、図中の1で示したボタン（新規登録）を押す。



下記画面の「入庫（新規）」が表示される。

- 1、図中の1で示した「RI 管理番号」を「RI 入手記録」と同じ番号を入力。
- 2、図中の2で示した「コード番号」を選択。なお、先に核種を選択しておく
核種に対応したコードのみ表示される。また、ここで表示されない新規化
合物の登録は次のp5以降に記載。
- 3、図中の3で示した「入庫量」を「kBq」で入力。MBqは1000倍して入力す
ること！！

The screenshot shows a software window titled "RI 入庫管理" (RI Inventory Management). The interface is divided into several sections with various input fields and dropdown menus. Eight numbered callouts (1-8) point to specific fields:

- 1: RI管理番号 (E) field, containing "01-00059 -00".
- 2: コード番号 (K) dropdown menu, showing "TRK125".
- 3: 入庫量 (Q) input field, containing "9250.000" with "kBq" as the unit.
- 4: 検定日 (P) date picker, showing "2001/09/05", and 検定量 (Q) input field, containing "9250.000" with "kBq" as the unit.
- 5: 容量 (V) input field, containing "0.000", and 単位 (W) dropdown menu, showing "μl".
- 6: 所属 (B) dropdown menu, showing "環境獣医学講座".
- 7: 氏名 (E) dropdown menu, showing "稲波 修".
- 8: 登録 (T) button.

- 4、図中の4で示した「検定日」「検定量」を入力。
- 5、図中の5で示した「容量」を入力。単位（ μ lやmlの違い）に注意！！
- 6、図中の6で示した「所属」から新規登録RIの管理責任者（教官）が所属する「大講座」を選択
- 7、図中の7で示した「氏名」は新規登録RIの管理責任者（教官）を選択する。
なお、大学院生、留学生、学部学生、研究員等は選択しないこと。
- 8、全ての入力完了したら図中の8で示した「登録」を押す。

コード番号の新規登録

(カタログ及びカタログメーカーの登録)

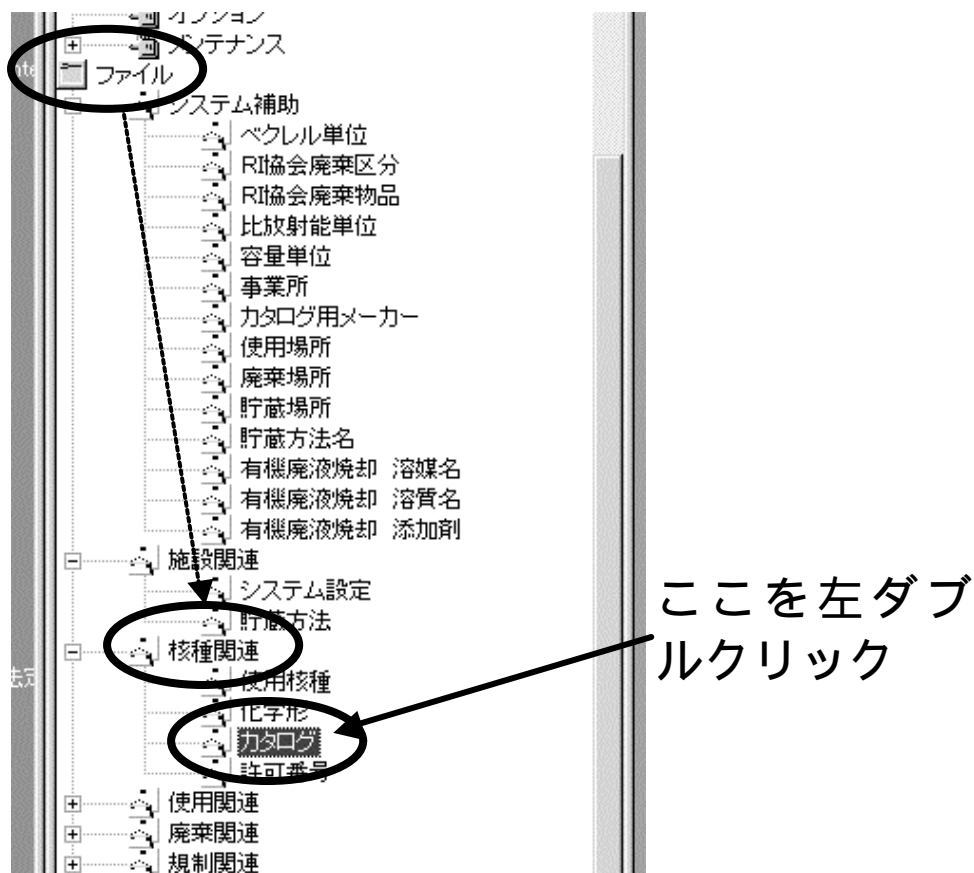
前のページ (p 4) でコード番号が表示されない場合、「入庫 (新規) 」画面で中止を押し、「入庫 (新規) 」画面より出る。



p 3 で示した「入庫のリスト」を閉じる。



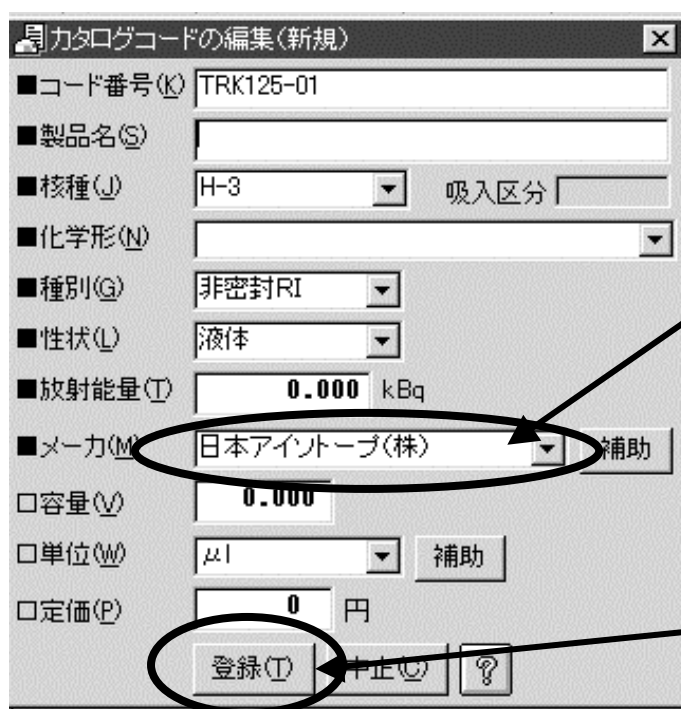
p 2 で示した「アイソトープ取扱管理システム[メニュー]」に戻る。ここで、下記図中に示した **ファイル** > **核種関連** > **カタログ** までスクロールを下げて進み、**カタログ** をダブルクリック



「カタログ」画面が開く。図中に囲みで示した「新規登録」をクリック



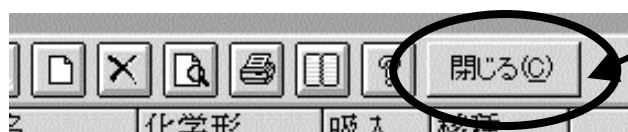
下記「カタログコードの編集(新規)」が表示されるので、定価以外の全てを入力し、「登録」をクリック。一つでも欠けると登録を受け付けないので注意。



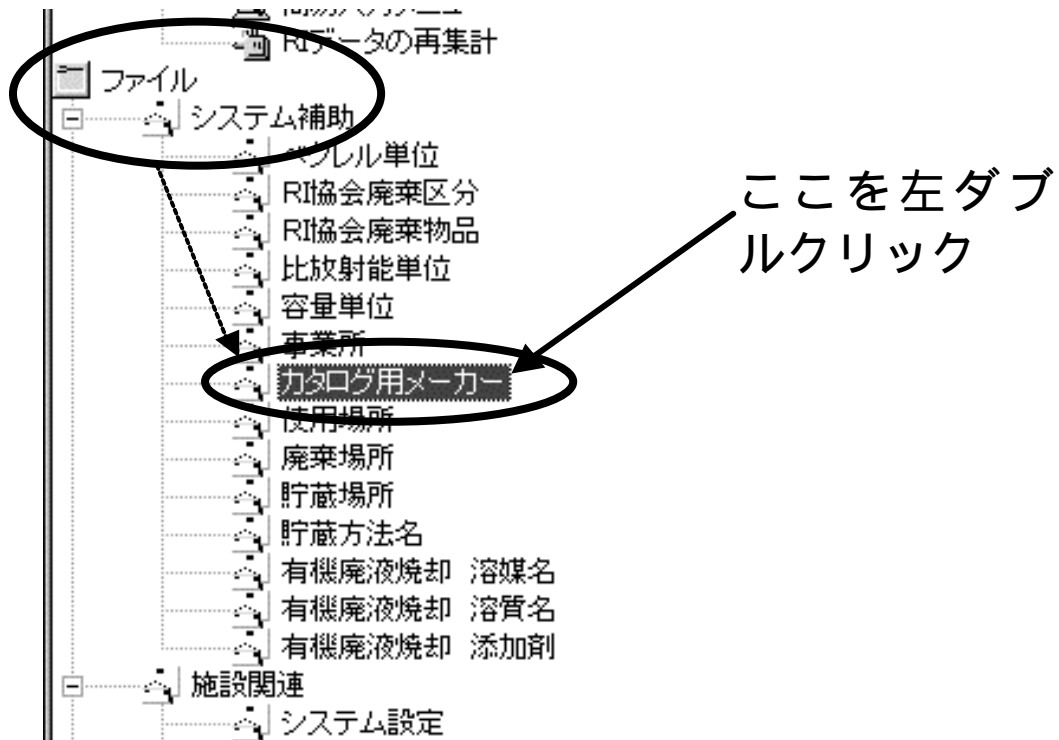
注意：ここでのメーカーは「製造メーカー」で「販売メーカー（日本アイソトープ協会）」ではない！！

ここをクリックして登録

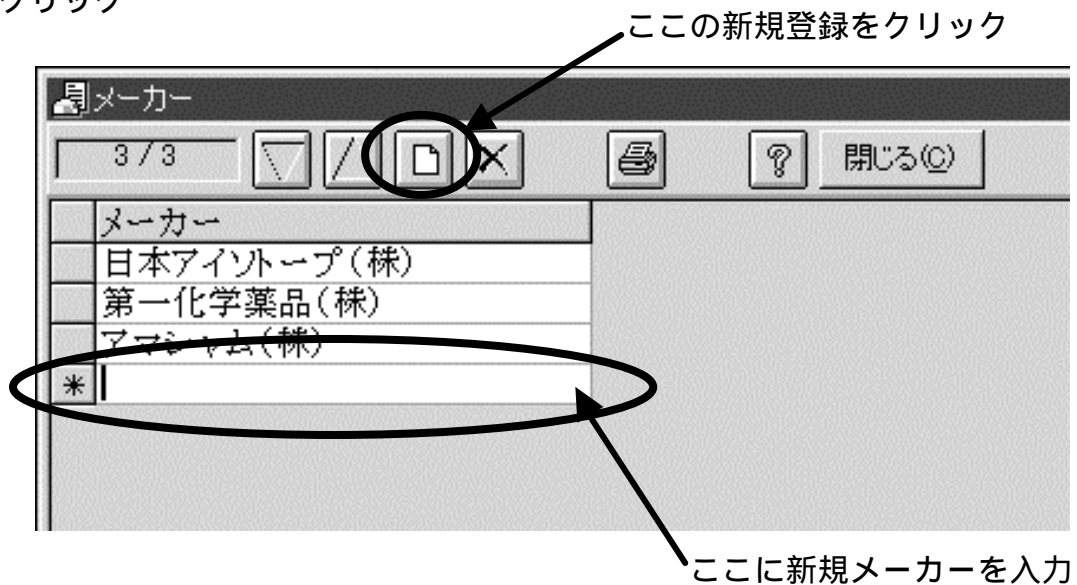
「カタログ」画面に今登録した RI 化合物が登録されたのを確認して「閉じる」を押す。



もし、RI 化合物のメーカーが登録されていない場合、p 2 で示した「アイソトープ取扱管理システム[メニュー]」に戻る。ここで、下記図中に示した **ファイル** > **システム補助** > **カタログ用メーカー** までスクロールを上げて進み、**カタログ用メーカー** をダブルクリック

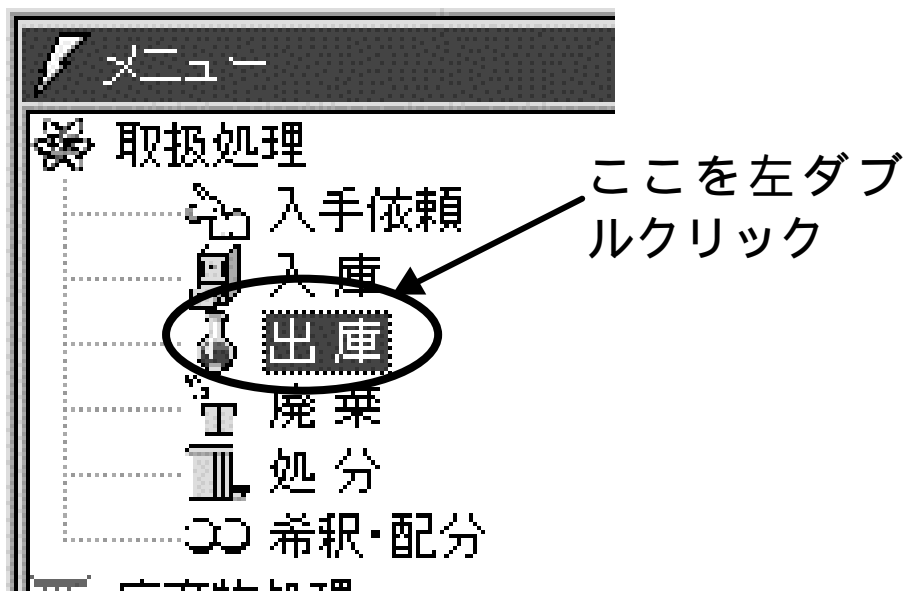


次の「メーカー」画面が表示されるので、図中に囲みで示した「新規登録」をクリック



RI の使用をする前に行う事 : 出庫

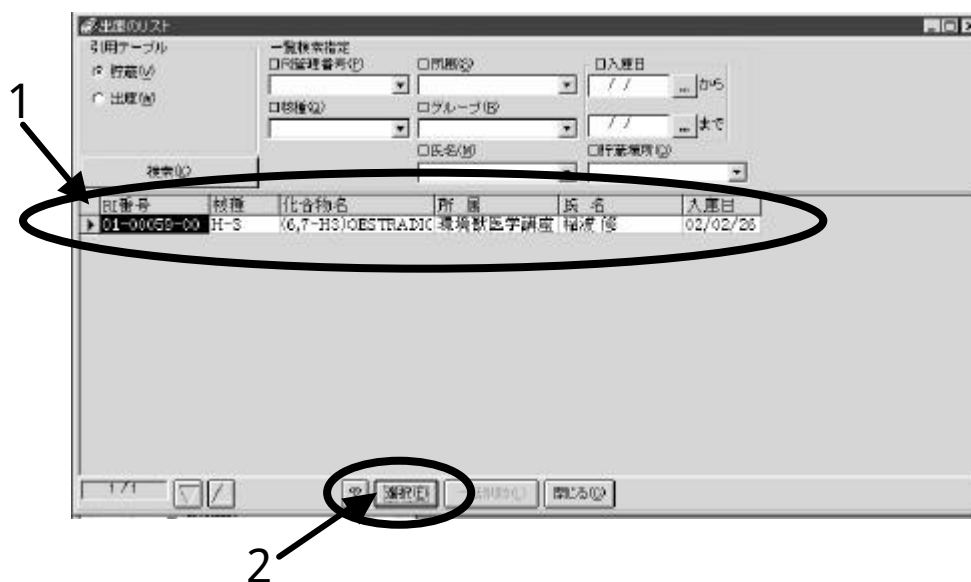
「アイソトープ取扱管理システム[メニュー]」の「出庫」をダブルクリック



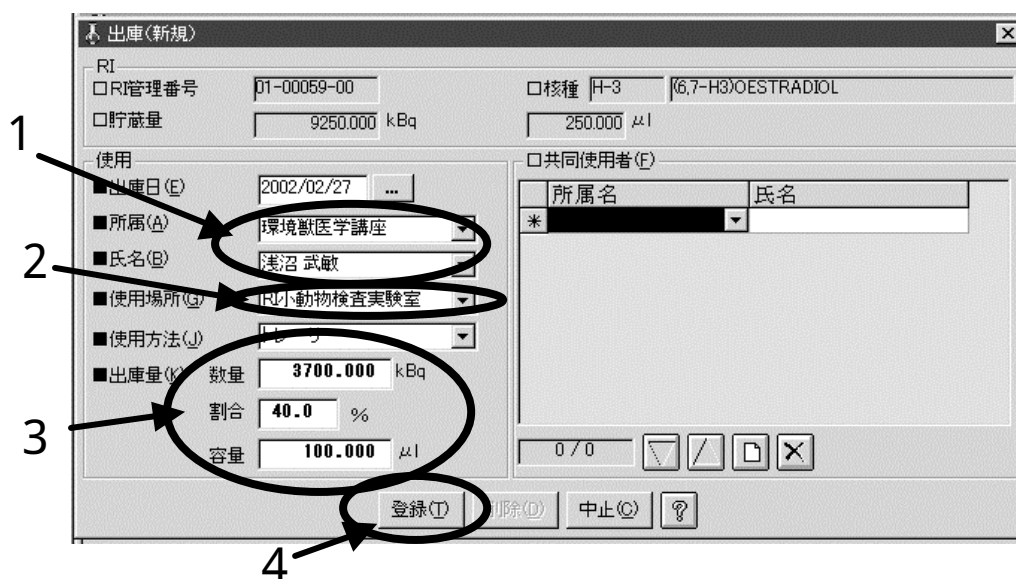
次の「出庫のリスト」が表示される。図中1に示した「引用テーブル」内の「貯蔵(V)」を選び、黒丸のチェックボタンをチェックする。次に図中2に示した「所属」「グループ」等の絞り込み条件を入力する。最後に図中3に示した「検索」を押す。



該当する RI が示されたら、実験に使う RI を選びクリック（図中 1）して黒く反転させ、選択をクリックする（図中 2）。



「出庫（新規）」が表示される。



- 1、出庫する該当 RI を使用する者の所属と氏名を選択。この場合、入庫登録と異なり、実際に該当 RI を使用する者の氏名を入力。
- 2、主に該当 RI を使用する場所を選択（RI 動物飼育室が主になる）。
- 3、本日の実験に使用する数量（kBq）、割合（%）、容量（ μ l、ml）を入力。
- 4、「登録」をクリックする。

該当 RI を本日使用する使用者が数名に及ぶ場合

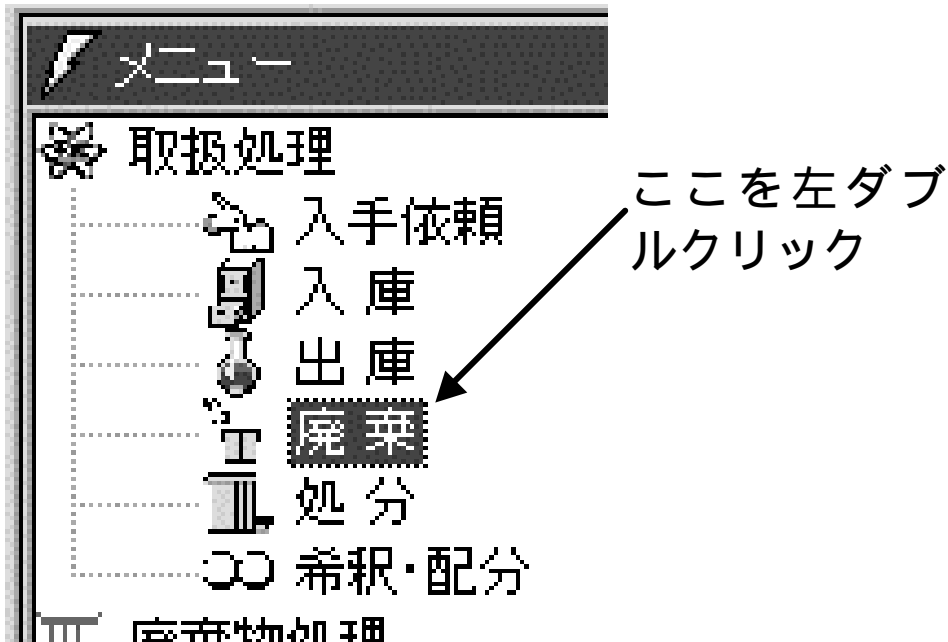
- 1、 出庫する該当 RI を使用する者の所属と氏名を選択。この場合、実際に該当 RI を使用する者の本日の代表責任者の氏名を入力。たいていは教官が実験を指導できる経験のある者。
- 2、 該当 RI を使用した実験を手伝ったり見学したり実験手技を教えてもらう者を選び入力する。
- 3、 主に該当 RI を使用する場所を選択（RI 動物飼育室が主になる）。
- 4、 本日の実験に使用する数量（kBq）、割合（%）、容量（ μ l、ml）を入力。
- 5、 「登録」をクリックする。

所属名	氏名
環境獣医学講座	浅沼 武敏
環境獣医学講座	山盛 徹
環境獣医学講座	浜洲 拓

2

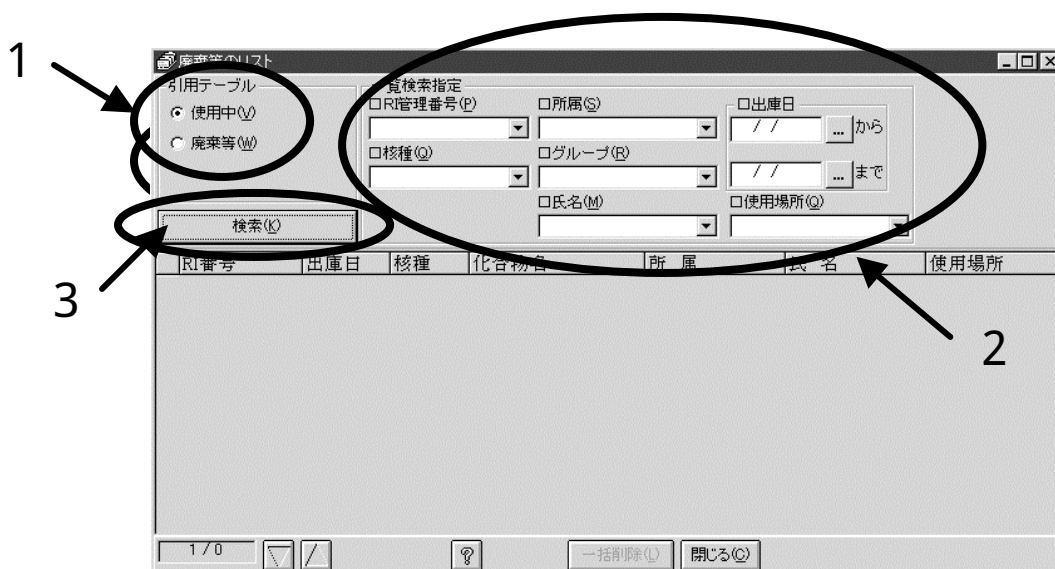
RI 実験終了後に行う事 : **廃棄**

新システムは「使用」 = 「廃棄」という考え方

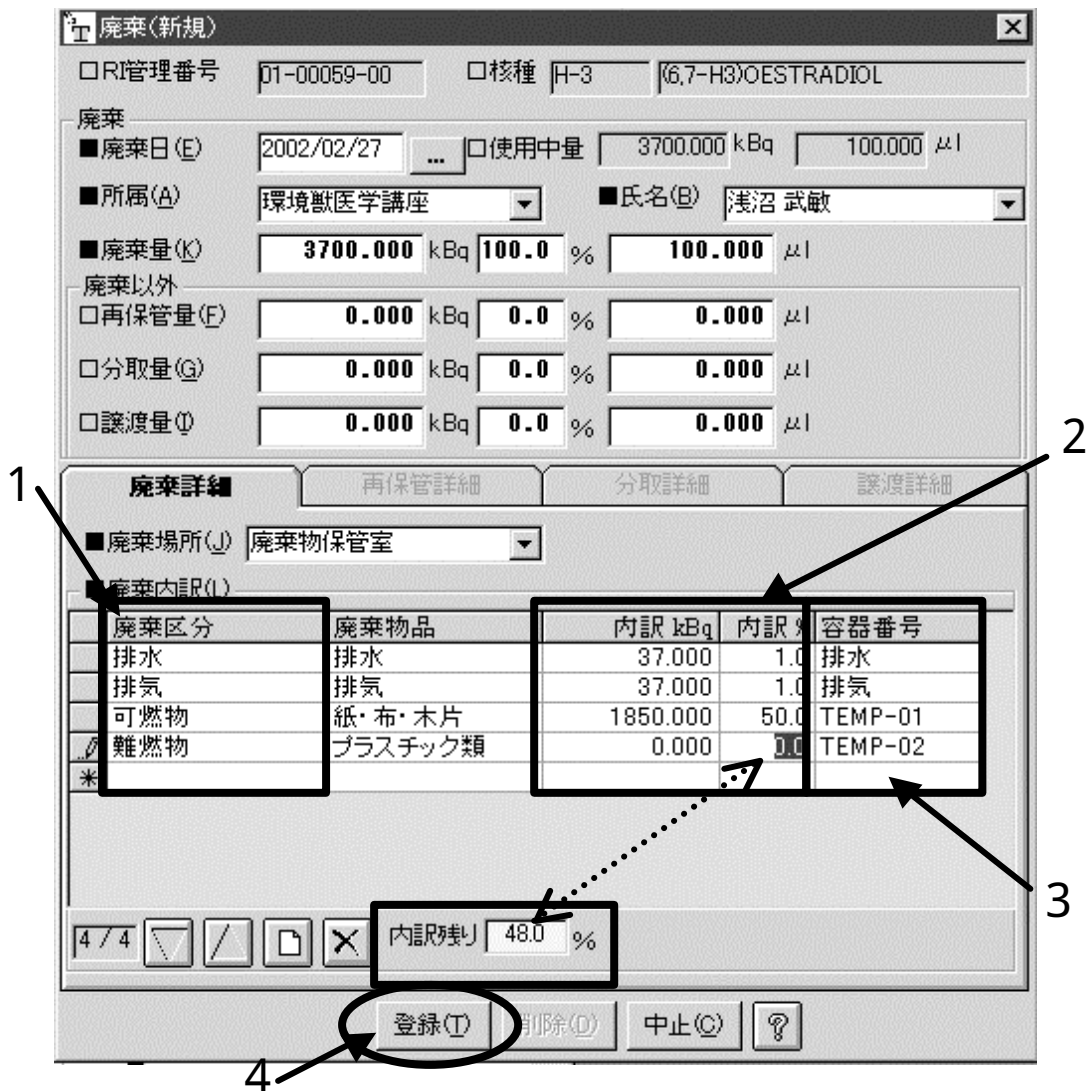


「アイソトープ取扱管理システム[メニュー]」の「出庫」をダブルクリック

「廃棄等のリスト」が開くので図中1に示した「引用テーブル」内の「使用中(V)」を選び、黒丸のチェックボタンをチェックする。次に図中2に示した「所属」「グループ」等の絞り込み条件を入力する。最後に図中3に示した「検索」を押す。



液体シンチレーションカウンターを使用していない場合



上図の「廃棄（新規）」画面が開く。ここで、図中1で示した「廃棄区分」から「可燃物」「難燃物」「不燃物」「無機廃液」を選ぶ。なお、「排水」と「排気」に関しては特別な理由が無い限り1%ずつに固定している。次に図中2で示した内訳（kBq または%）を入力する。この時、内訳残りに示される割合が0%にならないと廃棄登録が出来ないので注意。次に図中3で示した「容器番号」を選択するが、それぞれ以下に対応している。

- 可燃物 : 0000TEMP-01
- 難燃物 : 0000TEMP-02
- 不燃物 : 0000TEMP-03
- 無機廃液 : 0000TEMP-04

図中4で示した「登録」をクリックする。

液体シンチレーションカウンターを使用した場合

図中1で示した「廃棄以外」>「譲渡量」に有機溶媒へ溶かした割合を入力する。

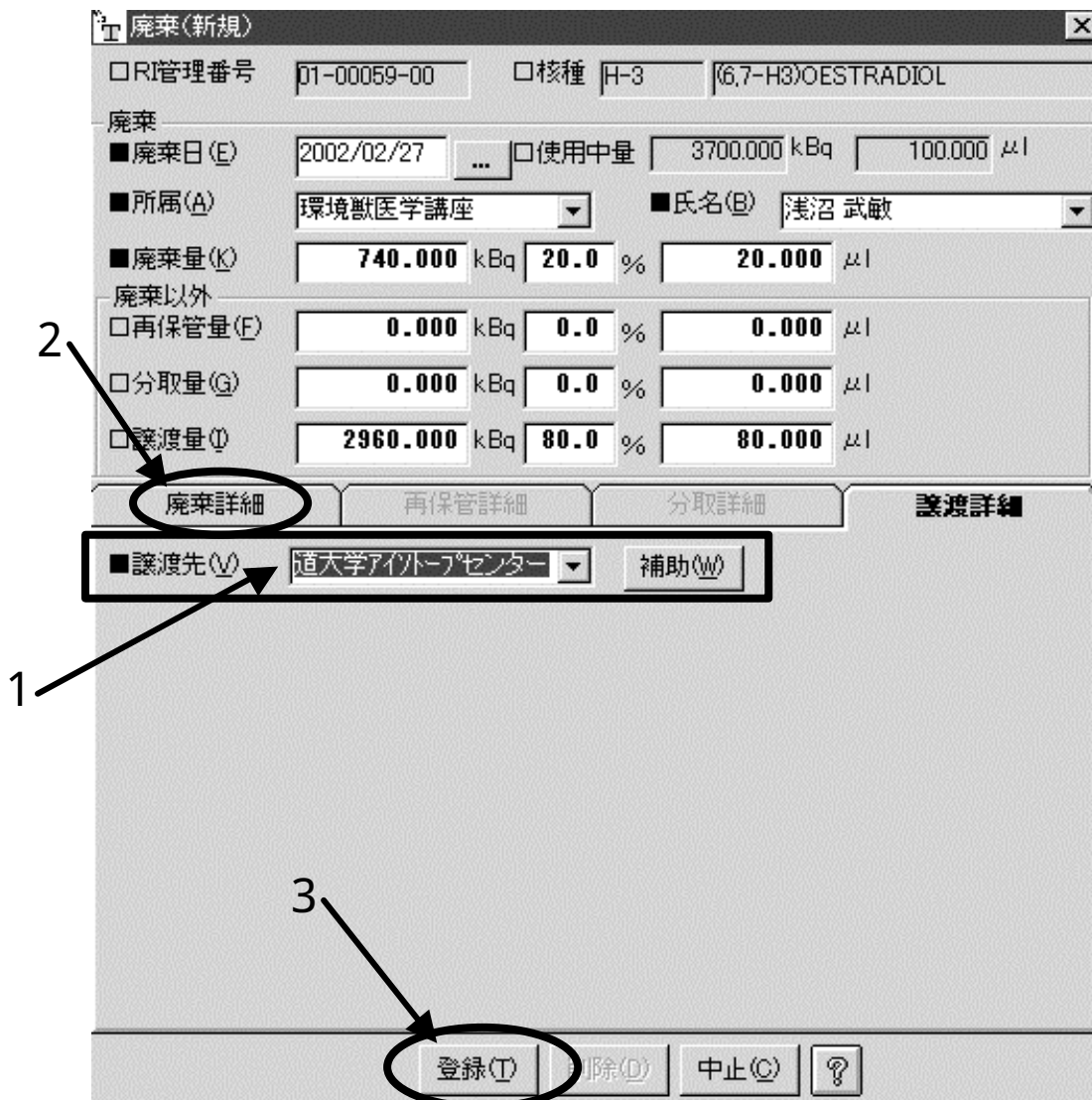
Figure 1: Screenshot of the waste management software interface. The interface shows various input fields for waste registration, including management number, date, location, and waste quantity. A table titled '廃棄内訳' (Waste Breakdown) is visible, listing waste items and their activity levels. The '譲渡量' (Transfer Quantity) section is highlighted with a box and callout 1. The '譲渡詳細' (Transfer Details) tab is highlighted with a box and callout 5. The '容器番号' (Container Number) column in the table is highlighted with a box and callout 4. The '内訳残り' (Remaining Breakdown) field at the bottom shows 48.0%.

廃棄区分	廃棄物品	内訳 kBq	内訳 %	容器番号
排水	排水	7.400	1.0	排水
排気	排気	7.400	1.0	排気
可燃物	紙・布・木片	370.000	50.0	31LA-6631
難燃物	プラスチック類	0.000	18	32IH-5345

次に有機溶媒へ溶かさなかった廃棄物について登録する。図中2で示した「廃棄区分」から「可燃物」「難燃物」「不燃物」「無機廃液」を選ぶ。なお、「排水」と「排気」に関しては特別な理由が無い限り1%ずつに固定している。次に図中3で示した内訳 (kBq または%) を入力する。この時、内訳残りに示される割合が 0%にならないと廃棄登録が出来ないので注意。次に図中4で示した「容器番号」を選択する。

図中5で示した「譲渡詳細」をクリックする。

- まだ登録は押さない!!!
- まだ登録は押すな!!
- まだ登録押したらダメ!

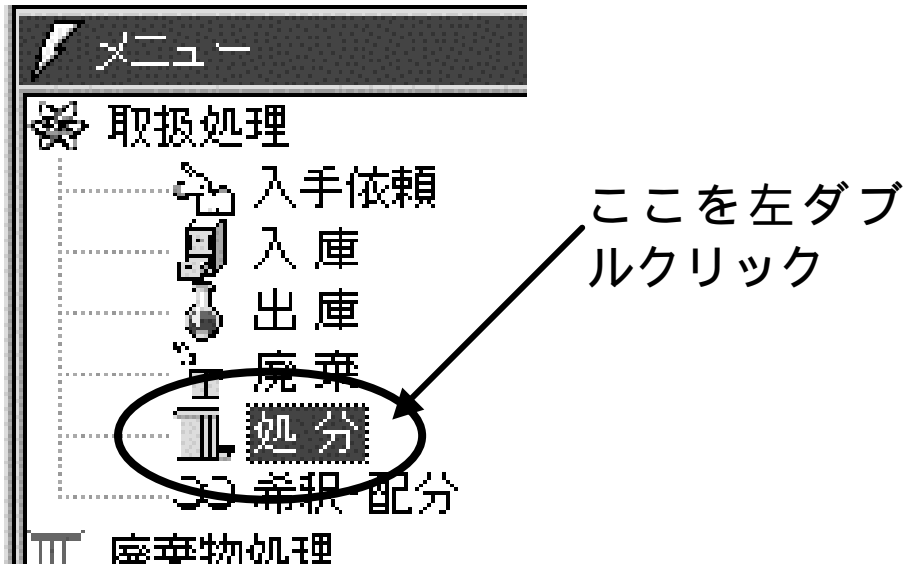


上図の譲渡詳細画面が開くので、図中1で示した「譲渡先」から「北海道大学アイソトープセンター」を選択する。ここを行わないと何時までも獣医学研究科に存在し続け、廃棄されないので注意！！

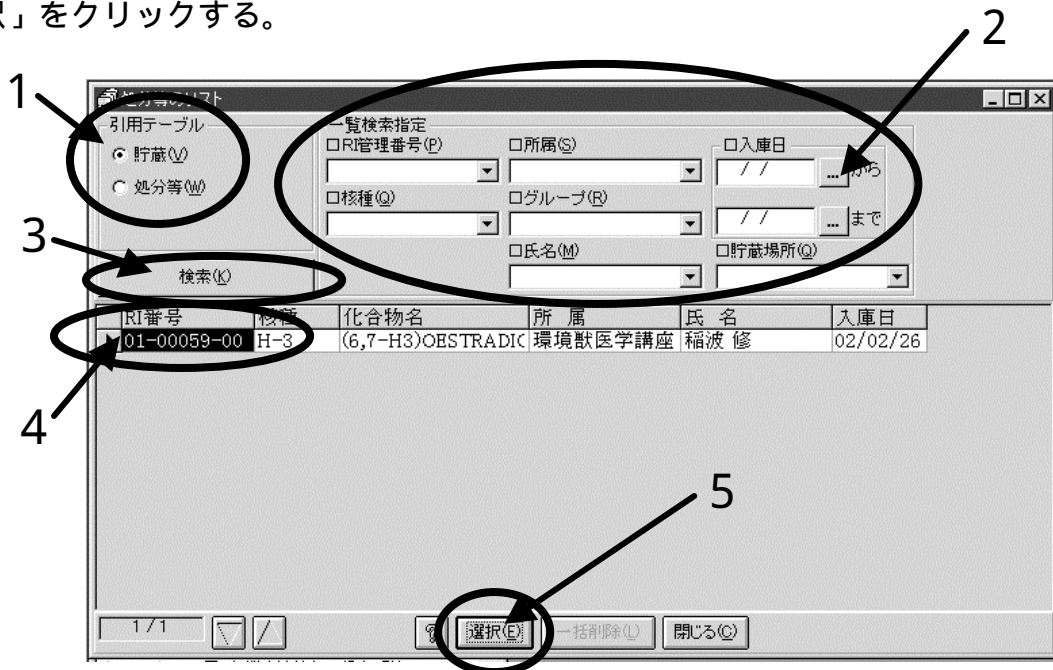
図中2の廃棄詳細をクリックしてp 13の廃棄画面の入力を確認して、図中3の「登録」をクリックする。

実験終了後余った RI を廃棄する場合 : **処分**
 旧システムの「バイアル廃棄」に相応

「アイソトープ取扱管理システム[メニュー]」の「処分」をダブルクリック



「処分等のリスト」が開くので図中1に示した「引用テーブル」内の「貯蔵(V)」を選び、黒丸のチェックボタンをチェックする。次に図中2に示した「所属」「グループ」等の絞り込み条件を入力する。最後に図中3に示した「検索」を押し、図中4のように該当 RI を選択して(黒く反転)、図中5で示した「選択」をクリックする。



下図「処分（新規）」が開く。

1

2

3

4

- 1、廃棄区分を選ぶ。この時は主に「可燃物」が主になる。
- 2、内訳を入力する。「可燃物」を主にし、「内訳残り」が0%になるようにする。
- 3、容器番号を選択する。
- 4、「登録」をクリックする。